

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切ったところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成24年度の評価にあたっては、第1期中期目標期間中に整備した運営基盤の強化と同期間内に取り組んだ諸改革を一層進めるとともに、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中4項目（研究、社会貢献、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（教育）について「おおむね順調に進んでいる」、1項目（業務運営）について「やや遅れている」と評定した。

業務運営については、教員表彰制度の制定等が遅れていることから、厳しい評価とした。進捗が遅れている項目については、早急に取り組まれない。

また、中期目標に掲げている重点事項についても、地域住民への各種健康教室・相談事業や不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成24年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) 教養教育の充実
 - ・社会人としての基礎力を育成するために、演習科目を改善するなど教養教育の充実に取り組んでいる。
- (2) 専門教育の充実
 - ・「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」が文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」に選定されており、教育の質の向上に努めている。
- (3) 教育効果を検証するシステムの構築
 - ・看護師、助産師等の各種国家試験合格率が、高水準を維持している。
- (4) 教員の教育能力の向上
 - ・教員相互の授業参観システムの構築等、より効果的なFD（※）の展開が必要である。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- (5) 優秀な学生の確保
 - ・オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加等、入試広報活動に取り組んでいる。
- (6) 学生支援の充実
 - ・キャリア形成支援研修会の実施や1、2年次のプレ・インターンシップの充実等キャリア支援の強化に努めている。
- (7) 学習環境の充実
 - ・eラーニングシステムの改善に向け、学生の利用状況調査を実施している。
- (8) 人間社会学部の改革
 - ・学内プロジェクト会議による検討を進めているが、進捗が遅れており、早急な取組が必要である。
- (9) 両学部連携の大学院博士課程の新設
 - ・学内ワーキンググループによる検討を行っている。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金の獲得に努めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・地域住民の健康向上のため、各種健康教室の開催や相談事業等を積極的に実施しており、開催数や参加者数が目標を上回っている。
- ・不登校やひきこもりの児童生徒、保護者に対する相談・支援事業、教員に対する研修・相談事業、県大子どもサポーター派遣事業など不登校・ひきこもり対策を積極的に行っている。
- ・各種リカレント教育実施数及び参加者数が目標を上回っている。
- ・県立三大学連携県民公開講座を初めて開催したほか、「生涯福祉研究センター・山本作兵衛さんを〈読む〉会」が福岡県文化賞を受賞した。

4 業務運営

評価	2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
----	-----------------------------

業務運営については、教員の表彰制度の制定に取組の遅れがあることから、2と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行っている。
- ・教員表彰制度については、教員の志気を高めるためにも、早急な取組が必要である。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、教員の教育・研究・社会貢献一覧を掲載している。